

「蔵王鉱山歴史資料館」、体育館を分離建設 平成30年秋竣工を目指す

NPO(特定非営利活動)法人 蔵王鉱山の歴史を語り継ぐ会 第1回通常総会の開催

NPO法人蔵王鉱山の歴史を語り継ぐ会(以下「語り継ぐ会」という)は、平成29年5月15日(月)、蔵王猿倉レストハウスにおいて会員21人(委任状35人)計56人の出席の下、第1回通常総会を開催し、提案議案を異議なく承認しました。審議の主なものは以下のとおりです。

1 平成28年度活動報告並びに活動計算書について
平成28年5月6日法人登記を済ませた後、蔵王鉱山歴史資料館建設に向け会員及び寄付者の募集を行い、会員75人で112万5千円、寄付者24人32万円の入金がありました。同資料館建設を具体化するため「建設委員会」を設置し、蔵王分校(蔵王開拓)の視察を実施しました。

2 平成29年度活動計画並びに活動予算(案)について
活動計画について
蔵王鉱山歴史資料館は、体育館部分のみを分離建設することとして、平成30年5月15日蔵王鉱山・山神社祭と併せて竣工式を行い、

紅葉の時期に完成を目指す。建設のため、会員の募集を行い、現会員75人から正会員1000人を目指す。
企業、団体、地元(中川地区)等への募集活動を強化する。また、国内外の募金を広く求めるため、「クラウドファンディング」活動を実施する。



蔵王通信

硫黄

第5号

発行
NPO法人 蔵王鉱山の歴史を語り継ぐ会
山形県上山市蔵王字蔵王山 2843-1
発行責任者 川口 兼次
TEL.023-679-2211 FAX.679-2606
編集責任者 高橋 正之
山形県上山市金谷 530 TEL.023-679-2435

印刷所
有限会社 東洋企画印刷
山形県上山市四谷 2-1-46
TEL.023-673-1648 FAX.673-1646

感謝

28/12/29/5までの報告報道で知った。地区会の会報で知った。見知らぬ方々からの寄付金が寄せられ喜んでご報告申し上げます。

寄付者ご氏名

- 仙台市 高橋 久子様
- 新庄市 阿部 茂巳様
- 河北町 阿部 佐 様
- 山形市 鈴木 幸雄様・新開徳次郎様
- 山市 山川 正憲様・永野地区会様
- 中川福祉社様・高橋 正之様
- 小林 由紀様・稲毛真紀子様
- 渡辺 賢次様・柴田 清明様

平成29年度蔵王鉱山・山神社祭の開催

山神社の清掃

平成29年5月7日(日)、「語り継ぐ会」役員会を開催した際、会に先立ち、役員による山神社の雪囲い外しと参道の清掃を行いました。



山神社祭典の執行

平成29年5月15日(月)午前11時より山神社前において、平成29年度祭典を執り行いました。

祝賀会の開催

平成29年5月15日(月)、山神社前事に引き続き、蔵王猿倉レストハウスにおいて、ご来賓、「語り継ぐ会」会員、鉱山関係者等45人が出席し「山神社祭祝賀会」が開催されました。



精錬所社宅「居住者地図」の中間報告

入居者に心当たりのある方は、情報提供を!

蔵王鉱山精錬所社宅の入居者地図作りは、「語り継ぐ会」佐藤竹志副理事長が事務局となって進めてきました。



この入居者地図作りは、製錬所、元山、猿倉の順に進めてきましたが、平成29年2月23日上山市軽井沢「じんや」において、製錬所住宅入居者の最後の情報交換を行いました。しかし、参加者のほとんどが2世ということもあって、入居者の特定が難航し、完全に特定するに

は至りませんでした。また、ご案内のとおり、社宅の増築等に伴い何度か転居を繰り返したため、入

居者の特定が困難な状況でしたが、役員のご協力により、最盛期の昭和34、35年の入居状況を基に作成することになりました。

現在のところ特定できた「入居者地図」は別刷りのとおりです。残念ながら取材の限界があり全戸の特定には至っていません。会員の皆様において、空白の部屋の入居者に心当たりのある方は、下記の担当者にご連絡くださるようお願いいたします。

<連絡先>

〒999-3131
上山市北町2-1-5 佐藤 竹志
(加入電話 023-672-4161)

〒999-3103
上山市金谷530 高橋 正之
(加入電話 023-679-2435)

おもな出来事

- ◇2月6日 蔵王鉱山歴史資料館建設募金について横戸上山市長と折衝(川口・佐藤・高橋)
- ◇2月16日〜17日 県高校スキー新人戦(猿倉)
- ◇2月23日 「じんや」で製錬地区社宅居住者名簿づくり会
- ◇2月26日 山形県A級公認スラローム大会(猿倉)
- ◇3月5日 全日本公認SL大会(猿倉)
- ◇3月10日 山形新聞、中川第二小学校について取材
- ◇3月18日 ベテラン東北大会(原田正男・田中知治両選手が出場)
- ◇3月20日 猿倉スキー場納会
- ◇4月1日〜6日 振子沢コースで日大山形山形中央高を中心にスキー合宿
- ◇4月12日 NPO法人役員会
- ◇4月14日 クラウドファンディングについて東洋企画・藤庄印刷協議
- ◇5月14日 山神社清掃と準備



蔵王鉱山の分析室。白衣を着た技術者にあこがれて
県立山形工業高へ。卒業を目前に鉱山が閉山し親父(季
蔵さん)に「警察官になれ」といわれ、大きく人生が変わっ
た。楯岡駅前交番を振り出しに県内を転勤し警察学校長や
山形警察署長を歴任。高卒ながら警察官僚組織のトップに
着任。関係者をアツといわせた。

お母さんは、蔵王鉱山主
婦の会の会長、全鉱東北地
方本部主婦の会副会長も兼
任された高橋静枝さん。坑
内火災でガスが私宅へ流れ
出し、元山の主婦と子供は
製錬へ避難。炊き出しを準
備し温かく向えてくれた。
静枝さんの心使いだっ
た。



いつもの時間に黄色帽子
をかぶって「横断中」の旗
をもって中川小学校児童の
交通誘導。そして民生委員。
困っている住民と福祉行政
の架け橋を担うボランティア
活動、児童委員という職
も兼ねていく。

役員紹介

理事 高橋 正之さん

あの人この人 訪問記 索道ひと筋 齊藤善吉さん

昭和 6 年生まれの 85 才。戦後間もない 21 年、義務教育を終えると
すぐ入社試験に合格し蔵王鉱山へ。第 1 第 2 第 3 の索道注油から
修理まで。4 人の仲間が命を落としたが怪我ひとつしなかった。

27 歳で大型免許 30 歳で上山へ新居

「坑内火災でアツという間
の閉山。就職も大変だったと
思うが」
齊藤「大型免許をもっていら
したので第一貨物へ申し込んだが
条件が合わずためらった」
—— 開発中の天元台スキー場
に勤務されたとか——
齊藤「ロープウェイが建設さ
れたばかりで索道経験者の募
集があり申し込んだら採用さ
れ「索道主任」の辞令もいた
だいた」
—— 社宅生活から新居を構え
る。就職と合わせて大変だっ
たと思うが——
齊藤「昭和三十四年に上市市
の分譲計画が公表され、それ
に申し込み三十才の時、新築
し通勤者となった。」
電気代も水道料もタダ。自
宅となればすべて自己負担。
損な生活！と揶揄されたこと
た」

ハモニカ長屋での 空腹時代。 助けてくれた 薄沢の実家

—— 戦後間もなくの時代に採
用されたもので宿舎は——
齊藤「通称ハモニカ長屋の
二号室、飯場ですよ」
—— 食事は？——

—— 管理職で印象に残って
いる人は——
齊藤「製錬課長のバセンと
呼ばれていた鈴木秀夫さ
ん、索道課長の高島さん、
先輩としては柏倉栄次郎さ
ん」
—— 索道での注油作業、綱
渡りの仕事で恐ろしかった
か——
齊藤「四人の同僚が搬器も
ろとも落下し命を落とし
た。恐かった」
—— 冬は綱渡りを止めス
キーで往来するために用
具を支給されたとか——
齊藤「その筋から「綱渡
り」を注意され深雪を歩
くのは困難なので自分で
いたが冬は辛かった。」



本年度の総会及び山神社祭に出
席。間もなく埼玉で生活していた娘
さんご夫婦がふるさと上山へUター
ンして同居。その準備や片づけで忙
しいとか。笑顔で語ってくれた。

「蔵王鉱山歴史資料館」建設に伴う募金のお願い

昔、硫黄を産出し栄えた蔵王鉱山が昭和 38 年 3 月
に閉山して 50 年余になりました。

現在、同鉱山で働いた人やその子弟が中心となり、
鉱山の歴史を後世に残そうと「蔵王鉱山歴史資料館」
(添付写真)を建設しようと活動しています。

平成 28 年 4 月 28 日には、「特定非営利活動法人
蔵王鉱山の歴史を語り継ぐ会」を設立しました。

同資料館は、猿倉の旧中川第二小学校跡地に、同
小学校の教室や体育館などを再現した木造校舎を建
てようというものです。

資料館には、当時を再現したジオラマをはじめ、鉱石採掘に使用したツルハシ、ヘルメット、作業服、
給与明細などのほか、職員の仕事ぶりや家族の生活を記録した写真パネルなどを数多く展示し、鉱山
の歴史を後世に伝えようと考えています。

資料館建設のため、同法人が主体となって、平成 28 年 6 月より会員の募集とともに建設資金の募金
活動が行われています。

中川地区には、鉱山で働いたことのある方、あるいはご商売の関係等で行き来した方々が数多くお
住いになっていると伺っています。関係された方々にとっては言うまでもなく、数多くの懐かしい思い出
を残した場所でもあるのではないかと思います。

現在、募金活動によって集まった建設資金は、目標額にはほど遠い状況にあります。蔵王鉱山の歴史
や思い出を後世に伝えるため、皆様のご理解とご支援を心からお願い申し上げます。

なお、ご支援をさせていただく場合の寄付金は、下記の口座に振り込んでいただくようお願いいたしま

- ゆうちょ銀行 普通預金口座 02250-7-140370
- NPO 法人蔵王鉱山の歴史を語り継ぐ会
- 理事長 川口兼次
- 連絡先 事務局 / 7999-3113 上市市蔵王字蔵王山 2843 の 1 (蔵王猿倉レストハウス内) 023-679-2211 FAX023-679-2606



＜ご支援の依頼者＞
NPO 法人蔵王鉱山の歴史を語り継ぐ会
理事 高橋 正之
寄付者への返礼～寄付をいただいた方々は、額を問
わず同資料館に寄付者芳名簿を掲示させていただきます。
また同法人において発行している機関紙「硫黄」を送付
させていただきます。

ふるさとにUターン

監事 小川 美代子

山神社祭にはじめて出
席した自己紹介で「川上
要作の娘です」と名のつ
たら「弁護士」の娘さん
かと大きな声でいわれ
恥ずかしさもありました
が、父を偲ぶひとときで
もありました。

なぜ「弁護士」と呼ば
れるようになったのか川
口さんに聞いてみまし
た。「立て板に水を流す
如く」弁が立ち、もめ事
の中心にいつもいたから
だそであります。川口さ
んの適当な説明にうなづ
いたものの、二度と弁護
士ウンヌンは使わないよ
うにお願いしました。

卒業する間もなく東
京に就職しました。練馬
区中村橋の駅前にあった
菓子店でした。社長さん
は積極的な経営手腕のあ
る方で、私が勤めたいた
ころ二年後には埼玉県
「鶴瀬」「草加」市に店舗
を出し、そして東京「竹
の塚」にも出店しました。
私は出店たびに移動さ
せられ慣れない地域ばか
りでしたので大変な苦勞
でした。

そんな時、上山に住ん
でいた父・川上要作から
「帰って来い」「帰って来
い」と、強くいわれまし
たが六年間過ぎた東京
を去る決心はつきませ
んでした。が、東京まで迎
えにくるということにな
り父の決意に私の心が励
まされ上山にもどること
になりました。



鹿野農林水産大臣に花束贈呈。
(山神社祭)

蔵王鉱山は誰のもの

その五 準大手にせまる企業拡大

日鉱・三井・三菱・住友・古河・同和。日本の産銅
六社といわれた大企業。わが日東金属鉱山は、その
大手にせまる企業の拡大をはかった。

昭和三十二年、大場鉱
山(株)との対等合併を行い
資本金三億、社名を日東
金属鉱山株式会社となっ
た。

昭和三十六年には資本
金十億円に増資し企業の
拡大をはかった。

南米のポリビア・チャ
カ鉱山。秋田県の東北石
油。北海道の静狩鉱山。
新潟県の新潟鉱業。宮城
県の松島湾汽船などを傘
等であった。

だが、これらの積極的
な投資や企業拡大は既存
の企業を追いつめるとい
う矛盾をかかえる結果を
招いた。相内鉱山の無理
な増産体制、蔵王鉱山の
大幅な合理化政策の強行
等であった。

下にくるか八戸市には
日東金属鉱山八戸製錬所
を新設するなど業界の話
題となる拡張ぶりだっ
た。

「坑内火災が発生しま
が開催された。」
元山の従業員は全員元山
へ。そして消防活動に専
念してほしい。組合大会
が終わった午後三時四十
分、会社より電話が入っ
た。(かわぐち)



蔵王通信

◇ 競馬場と蔵王鉱山。上山
市の歴史と経済を良く知る
友人が久しぶりに訪れて
くれた。上山市の発展に大き
く貢献してくれた三大産業
しかし二つとも火は消えた。
歴史資料館の建設、ぜひ実
現してほしいと寄付金をい
ただいた。

◇ 山形県内の鉱山サミット。
永松鉱山友の会から提案の
あった提案事項だが、大泉・
大鳥(鶴岡)谷口(最上)
幸生(寒河江)滝沢(最上)
永松(大蔵)木友(舟形)
蔵王(上山)と連絡がとれ、
10月頃までに第一回の会合
を開くことになった。

◇ わからぬのは分からない。
佐藤副会長を中心に製錬地
区の社宅配置図に基づいて
居住者づくり。55年前のこと
とはいえず、「難航」。難
航のまま機関紙へ。
◇ 新庄の阿部さん。
組合事務所前に社宅のあっ
た阿部直三さんの長男茂巳
さん。カンパをしてくれたこ
とはもちろんだが、こうい
う出会いがすくばる。

三人に二人の割の人員
整理、その反対争は大き
く盛り上がり組合側の
ストライキに対し会社側
はロックアウトで対抗し
た。

昭和三十七年十二月二
十四日、組合の臨時大会
が開催された。